

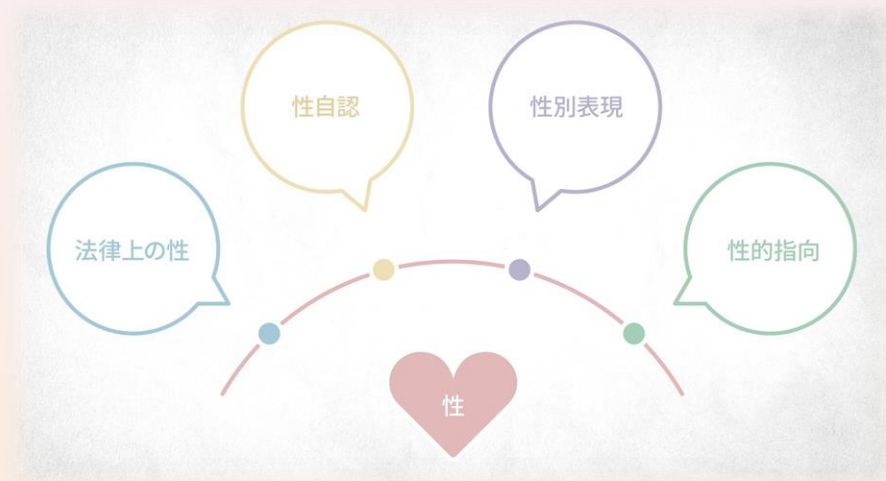


# 性の多様性と LGBTQ+

～誰もが自分らしく生きるために～

解説書

「性のあり方」は、  
**4つの要素**に分解して考えることができます。



### 法律上の性

……人は生まれるとすぐに「男」と「女」のどちらかの性に振り分けられます。この性は医師や助産師などが身体的な特徴によって判断し、戸籍や住民票に登録されます。これを「法律上の性」といいます。

### 性自認

……「性自認」とは、自分の性をどのように認識しているか、ということです。性自認と法律上の性は必ずしも同じとは限りません。また、男女のどちらでもないと認識する人もいます。

### 性別表現

……服装や言葉遣い、振る舞いなどで、自分をどう表すかを、「性別表現」といいます。法律上の性や性自認と一致するとは限りません。

### 性的指向

……「性的指向」は、恋愛や性的な関心がどの性別に向くか／向かないか、ということです。異性を好きになる人や、同性を好きになる人、男女の両方を好きになる人、「恋愛的、性的に他者に惹かれない、関心がない」、という人もいます。

性のあり方が多数派に属さない人たちのことを「性的マイノリティ」といい、

「Lesbian (レズビアン) 」

「Gay (ゲイ) 」

「Bisexual (バイセクシュアル) 」

「Transgender (トランスジェンダー) 」

の頭文字をとって「LGBT (エルジービーティー) 」と表現することがあります。



「Lesbian (レズビアン) 」

……女性として女性が好きな「女性同性愛者」。

「Gay (ゲイ) 」

……男性として男性が好きな「男性同性愛者」。

「Bisexual (バイセクシュアル) 」

……性的指向が女性と男性でもある「両性愛者」。

「Transgender (トランスジェンダー) 」

……（生まれた時に割り当てられた）法律上の性別と性自認が異なる人。

しかし、「性的マイノリティ」はこの4種類だけではありません。

たとえば他に、

「X-gender (エックスジェンダー) 」

……性自認が男女どちらでもない、どちらとも言い切れない、いずれにも分類されたくない等の人。

「Pansexual (パンセクシュアル) 」

……性的指向が性別にとらわれない人。全性愛者。

「Aromantic (アロマンティック) 」

……他者に恋愛的に惹かれない人。

「Asexual (アセクシュアル) 」

……他者に性的に惹かれない人。

といった性のあり方を持つ人もいます。

「X-gender (エックスジェンダー)」や「Pansexual (パンセクシュアル)」など、さまざまな性のあり方を含む、性的マイノリティ全体を表す言葉としても

### 「LGBT (エルジービーティー)」

が使われることもあり、また、このLGBTに「Q」と「+」を足して、

### 「LGBTQ+ (エルジービーティーキュープラス)」

という言葉が使われることもあります。

「Q」は、「**Queer (クィア)**」「**Questioning (クエスチョニング)**」の頭文字で、

「+」は、**他にも様々な形がある性のあり方（まだ名前のついていないものも存在する）を包括的に表す**という意味です。



### 「Queer (クィア)」

……元々は「風変わりな・奇妙な」といった侮蔑的な意味の言葉であったが、それを逆手に取り、性的マイノリティ全てを包括する言葉として使われている。

### 「Questioning (クエスチョニング)」

……自分の性別がわからない人や意図的に決めていない人、決まっていない人、特定の枠に当てはまらない人、などを表す。

また、いわゆる「性的マイノリティ」に当てはまらない、多数派の人々を表す言葉もあります。

### 「Cisgender (シスジェンダー)」

……（生まれた時に割り当てられた）法律上の性と性自認が一致し、違和感のない人。

### 「Heterosexual (ヘテロセクシュアル)」

……異性を好きになる人。異性愛者。

どちらも多様な性のうちの1つなのです。

## 「Ally (アライ) 」

……「味方」や「同盟」を意味する英単語「ally」が由来で、LGBTQ+について理解し、支援したいと思う人、差別や偏見をなくすために行動する人のこと。

## 「SOGI (ソジ) 」

……Sexual Orientation (性的指向) とGender Identity (性自認) の頭文字をとったもので、性的マイノリティだけでなく、すべての人が関係する属性や特徴といえる。

## 「カミングアウト」

……（主に性的マイノリティ当事者が）自分の性のあり方を自覚し、誰かに打ち明けること。

※「カミングアウトをするか、しないか」に正解はありません。いつ、誰に伝えるか、伝えないかは、本人の自由であり、必ずカミングアウトしなくてはいけない、ということはありません。

## 「アウティング」

……本人の性のあり方（主に性的マイノリティ当事者の性的指向や性自認）を同意なく第三者に暴露すること。

※アウティングは、ときに当事者の命を奪うことにもつながる危険な行為であり、絶対に行ってはいけません。本人への配慮のため、他者に伝える必要があったとしても、事前に本人と相談をして、了承を得る必要があります。



## <ワークシート>

4つの要素に当てはめて、自分の「性のあり方」について考えてみましょう。

	法律上の性別	
	女性	男性
性的指向	「	」
性別表現	「	」
性自認	「	」

- この4つの要素の書き方に正解はありません。周りの人と似ていても、全く違っていても、おかしいことではなく、「性のあり方」は一人一人異なり、とても多様なものです。

※このシートは自分の「性のあり方」について考えてみるためのものです。  
他の人の「性のあり方」を無理に聞き出すことはやめましょう。

## <ワークシート>

■ 4人の方のお話を聞いて、気づいたことや感じたことを書いてみてください。

■ あなたにとって「性のあり方」とはどのようなものでしょうか。

■ 誰もが自分らしく生きるためには、どのような考えや行動が必要だと思いますか。